

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1,385	t-CO <sub>2</sub>
①を除外した温室効果ガス換算排出量	②非エネルギー起源二酸化炭素 (③を除く。)		t-CO <sub>2</sub>
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO <sub>2</sub>
	④メタン		t-CO <sub>2</sub>
	⑤一酸化二窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO <sub>2</sub>
	⑨三ふっ化窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑩エネルギー起源二酸化炭素 (発電所等配分前)		t-CO <sub>2</sub>
	温室効果ガス総排出量 (①~⑩合計)		1,385

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

(1) 温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績		
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
温室効果ガス総排出量		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>
削減率 (対 基準年度)			%		%		
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>
削減率 (対 基準年度)					%		

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績			
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
原単位あたりの排出量	4.148	t-CO <sub>2</sub> / 1,000時間	4.024	t-CO <sub>2</sub> / 1,000時間	3.759	t-CO <sub>2</sub> / 1,000時間	3.272	t-CO <sub>2</sub> / 1,000時間
削減率 (対 基準年度)			3.0 %		9.4 %			
原単位あたりのみなし排出量						t-CO <sub>2</sub> / 1,000時間	t-CO <sub>2</sub> / 1,000時間	
削減率 (対 基準年度)					%			

(2) 進捗状況に対する自己評価 (目標の達成/非達成の理由)

省エネの設備導入・省エネ啓蒙活動と電気使用量の昼間・夜間の把握によりエネルギー使用量が減った。また今期は生産調整があり生産に係るエネルギーが減っている。この結果として原単位あたりの排出量が下がった要因と判断します。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。  
 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。  
 備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。  
 備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源の行動実践：冷暖房	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷房温度28℃、暖房温度19℃を徹底する。</li> <li>・空調機器更新時は省エネルギー型を採用する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終業10分前に冷暖房スイッチオフ</li> </ul>	5か所のエアコンを高効率タイプに更新し年間24,310kwh削減 その他エアコン設定温度や運転時間削減等は継続して実施している
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷暖房時間を短縮する。</li> <li>・扇風機の併用</li> <li>・クールビス・ウォームビズの推奨</li> </ul>		実施
省エネルギー・省資源の行動実践：照明 ：その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用していない部屋や昼休み・時間外の消灯を徹底する。</li> <li>・工場の照明器具を順次高効率に切替える</li> <li>・常夜灯のLED化</li> <li>・コンプレッサーの高効率運転、制御装置の導入</li> </ul>		蛍光灯をLED化し年間8,491kwh削減した
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高効率変圧器への置換えを計画し実施</li> <li>・コンプレッサーの始業開始5分前運転開始と昼休停止の徹底</li> <li>・モーターの高効率化</li> <li>・モーターの始業開始5分前運転開始と昼休み停止の徹底</li> </ul>		高効率変圧器に3か所更新し12,719kW削減した
省エネルギー・省資源の行動実践 ：OA機器 ：他機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン・コピー機の長時間離席時・退社時のスイッチオフを徹底する。</li> <li>・液晶モニターなど省エネタイプに順次切り換える</li> <li>・待機時消費電力削減のため退社時にコンセントを抜く</li> </ul>		実施
自動車等輸送機関に関する対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車を利用するときはアイドリングストップ・エコドライブを徹底する。</li> <li>・車両の環境評価を実施し、低公害車を導入する。</li> <li>・モーダルシフトで、CO2を削減する。</li> <li>・車の始業点検励行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モーダルシフトで、前年比10%UPのCO2/年削減を目標とする</li> </ul>	一部門でモーダルシフトへの取組を行い93.6t-CO2削減した
廃棄物の排出抑制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両面コピー・裏紙利用により、コピー用紙を削減する。</li> <li>・分別を徹底し、紙類はリサイクルする。</li> <li>・DXを推進し紙の使用量を減らす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙類のリサイクルは、名刺サイズの半分まで実施。</li> </ul>	実施

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 3 年度目（令和 6 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電力		t-CO <sub>2</sub>
熱		t-CO <sub>2</sub>

(3) 環境価値（クレジット等）の活用の状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO <sub>2</sub>
-------------------

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画した取組みに対し各部門でテーマを決めて計画し実施・報告することで計画の見える化と参加意識向上を図っている</li> <li>・CO<sub>2</sub>吸収の緑化として新入社員の記念植樹を令和6年も継続して実施</li> </ul>
---

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・エレベーター使用を控える条件を掲示して周知徹底を実施</li> <li>・不要な電気の使用は控えるよう各職場に「節電ポスター」を掲示し啓蒙を実施</li> </ul>
---